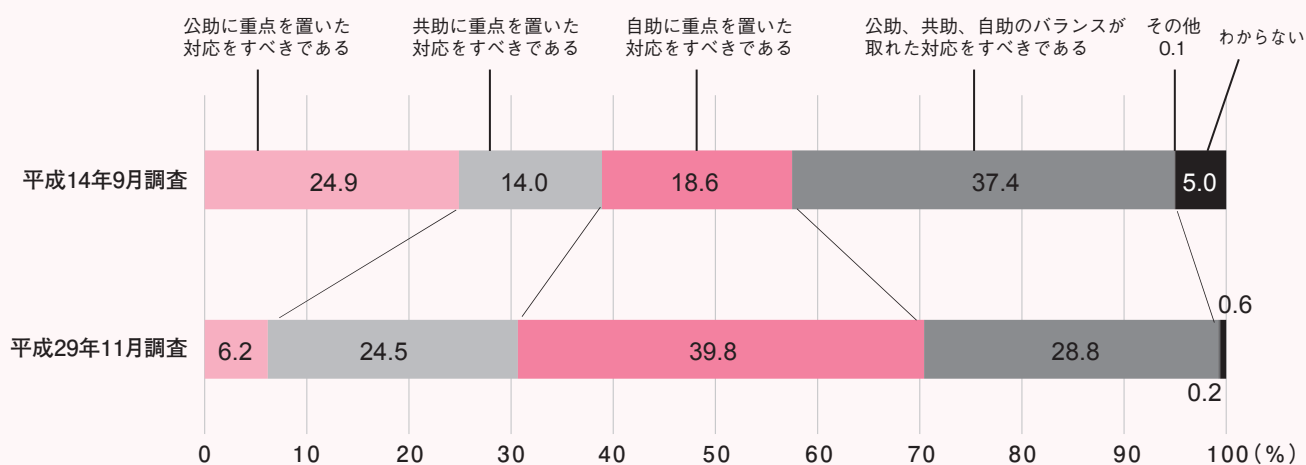


ウィルプラス

WILL PLUS No.93 2018

重点をおくべき防災対策の意識の変化



出所:内閣府政府広報室「防災に関する世論調査」をもとに作成
(平成14年9月調査・有効回答2,155人)、(平成29年11月調査・有効回答1,839人)

「公助」よりも「自助」「共助」に重点を置くべきと考える人の割合が高まっている。

災害が起こったときに、その被害を少なくするために取る対応には、「自助（じじょ）」自分の身は自分で守ること「共助（きょうじょ）」地域や身近にいる人どうしが助け合うこと「公助（こうじょ）」国や地方公共団体が行う救助・援助・支援という考え方があります。出所：内閣府政府広報室「防災に関する世論調査」

特集 備えることは、大切な人を守ることに繋がるー … 1~2

- 御礼!あいち国際女性映画祭2018…………… 3
- ウィルあいちフェスタ2018御礼…………… 3
- 団体紹介…………… 4
 - 尾張えみの会(尾張地区)
- 女性の活躍促進 わが社の女性管理職紹介…………… 5
 - 中部電力株式会社
 - 第一生命保険株式会社
- 「あいち女性連携フォーラム公開講座」参加者募集…………… 5
- 情報ライブラリー Book Cafe…………… 6
 - ライブラリーの本の虫 おすすめメニュー「災害支援」
- ウィルおじさん…………… 7
- ウィルあいち案内…………… 7

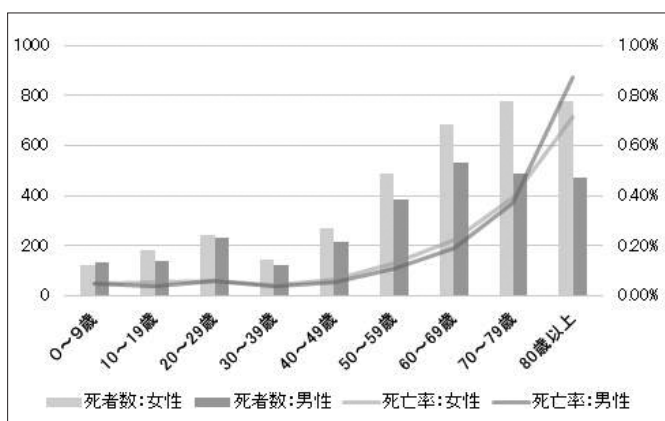
備えることは、大切な人を守ることに繋がる

防災、減災をふだんの生活から意識して暮らすことについて、名古屋大学減災連携研究センター 荒木裕子先生にお伺いしました。

◆◆◆ 生活の延長にある災害 ◆◆◆

2018年は、6月の大阪北部地震、7月の平成30年7月豪雨、8月の台風21号、9月の北海道胆振東部地震と、命や暮らしに大変な影響を及ぼす災害が続きました。特にここ数年は梅雨時から秋にかけての水害によって毎年亡くられる方がおられます。皆さんも感覚として大雨が降る機会が増えていると実感されているかもしれません。私達の命や暮らしを守り、被害を出来るだけ減らすためには日頃の備えが重要になってきます。また災害は私達の暮らし方や習慣といったものも関係しています。皆さんは災害が起きた時、高齢者の方が亡くなる割合が高いことをお聞きになったことがあると思います。避難情報が得にくい、避難行動が遅れる、避難行動自体が困難といった、日ごろからの生活状況の延長にある課題が指摘されています。それでは男女の違いについてお聞きになったことはありますか。

◆◆ 大規模災害時で亡くなった方の年代から見る男女の違い ◆◆

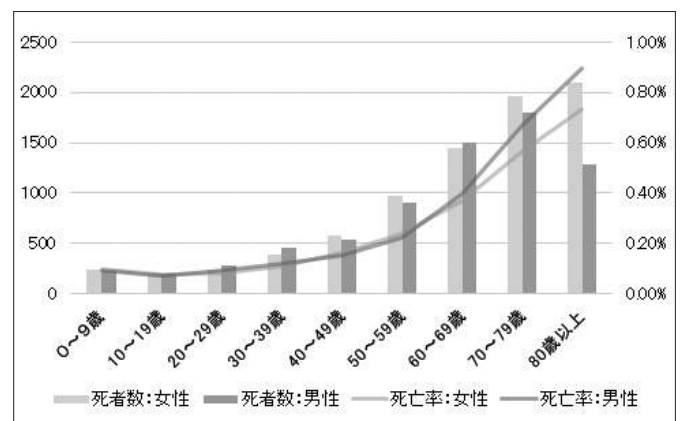


阪神・淡路大震災における年代・性別別死者数と人口に対する死者の割合

出所：阪神・淡路大震災の男女別・年齢階層別死者数（内閣府男女共同参画局）及び平成7年国勢調査をもとに作成

まず地震を取り上げてみましょう。1995年の阪神・淡路大震災の兵庫県では、男性が2,713名亡くなったのに対し、女性は3,680名亡くなっています。もともと年齢が上がるにつれて人口における女性の割合が高くなり、必然的に女性の犠牲者が増えることは考えられます。ただ男女の人口に対して亡くなられた方の割合を見ますと、60歳以上だけでなく10代や30～50代でも、女性の亡くなる割合が高くなっており、女性の方が犠牲になる割合が高いのです。阪神・淡路大震災において直接死で亡くなった方のうち7割は窒息・圧死によるものです。冬場の早朝5時46分に起きた地震でしたので、多くの方がまだ就寝中か朝食等の準備で在宅でした。直下型の地震で避難行動を取る時間もほとんどなく、倒壊に至った建物の耐震性や、家具固定の状況がそのまま被害に直結しました。相対的に女性の方が所得が低いですが、古い長屋で犠牲となった女性の方がたくさんおられました。

次に津波について見てみたいと思います。2011年の東日本大震災で被害の大きかった岩手県、宮城県、福島県では、男性7,360人に対し女性は8,363人の方が亡く



東日本大震災における年代・性別別死者数と人口に対する死者の割合

出所：東日本大震災の男女別・年齢階層別死者数（内閣府男女共同参画局）及び平成22年国勢調査をもとに作成

御礼! あいち国際女性映画祭2018

9月5日(水)から9月9日(日)までの5日間に渡り開催した「あいち国際女性映画祭2018」は、1万2千人を超える方々にご来場いただきました。ウィルあいち会場、ミッドランドスクエアシネマ会場、半田市会場、弥富市会場に足をお運びいただいた皆様、ご協力いただいた皆様、そして映画祭を支えてくださったボランティアの皆様、誠にありがとうございました。

この地方を舞台にした作品も上映

23回目となる今回は、15ヶ国・地域から出品された計32作品の長編・短編映画を上映しました。愛知、岐阜、静岡などこの地方を舞台とした作品も上映し、映画を通して新たな視点で地域を知り、見つめ直す良い機会となりました。

また、国内外の監督始め、仲代達矢さん、橋爪 功さん、はるな愛さんなど豪華ゲストをお迎えしたトークイベントでは、作品に込めた想いや撮影秘話など、貴重なお話を伺うことができました。

名古屋難民支援室と共同で開催したシンポジウム「日本に暮らす難民を知ろう! 支えよう!」では、難民の現状、難民支援のあり方について理解を深めました。シンポジウム後に開催された交流会も、たくさんの方にお楽しみいただきました。

フィルム・コンペティション(長編フィルム部門・短編フィルム部門)の結果発表

「フィルム・コンペティション」では、今後の活躍が期待される女性監督による長編映画3本と短編映画10本のノミネート作品を上映しました。

グランプリほか受賞結果は以下のとおりです。観客賞の投票にご協力いただいた皆様、誠にありがとうございました。

<長編フィルム部門>

◆ グランプリ 金のコノハズク賞

『Danchi Woman』(日本/2017年/66分) 監督: 杉本暁子

<短編フィルム部門>

◆ グランプリ 金のカキツバタ賞

『いきうつし』(日本/2018年/30分) 監督: 田中晴菜

◆ 準グランプリ 銀のカキツバタ賞

『2番のユニフォーム』(台湾/2017年/27分) 監督: ウー・ホンイー

◆ 観客賞

『夜間飛行』(日本/2018年/25分) 監督: 三宅美奈子

あいち国際女性映画祭は、男女共同参画社会を目指す映画祭として、今後も努力してまいりますので、一層のご支援をお願いいたします。

ぜひまた会場でお会いできますように。ありがとうございました!



【問い合わせ先】

あいち国際女性映画祭事務局
(公財)あいち男女共同参画財団
企画協働課内

電話 052-962-2520

HP <http://www.aiwff.com/>

◆ 「ウィルあいちフェスタ2018」 御礼 ◆

11月17日(土)にウィルあいちで開催しました「ウィルあいちフェスタ2018」。お天気にも恵まれ、おかげさまで盛況のうちに終了することができました。ご来館くださった皆様、ありがとうございました。また、様々な企画でご参加いただきました25団体の皆様、お疲れ様でした。フェスタでの出会いや体験から広がる交流の輪が、今後も一層大きくつながって男女共同参画が一層、促進されることを期待するものです。この場をお借りして、心よりお礼申し上げます。



問い合わせ先 / (公財) あいち男女共同参画財団 企画協働課 電話 052-962-2512



このコーナーでは、県内で活躍する団体にスポットを当て、その活動をご紹介します。今回は、「尾張えみの会」をご紹介します。

❖ 尾張えみの会 ❖

1 設立目的と今までの活動内容について

尾張えみの会は、初代会長の名前からつけられ、「素直な心で、常にほほえみを持って接する」のが会の由来であると設立20周年記念誌から知ることができ、その歴史を感じます。

1987年（昭和62年）に設立され、会員相互の親睦を図り、地域活動を通して、女性地位向上と地域社会の発展に寄与することを目的として発足しました。

今年32周年を迎えました。

平成30年度の会員数は39名です。

（内訳）

瀬戸市	2名	一宮市	4名
小牧市	3名	稲沢市	3名
尾張旭市	2名	岩倉市	3名
豊明市	2名	清須市	3名
東郷町	3名	北名古屋市	10名
日進市	1名	江南市	1名
長久手市	1名	扶桑町	1名

現在は、総会と2回の学習・交流会と研修会の年4回の活動と「尾張えみの会だより」（年2回発行）を毎年輪番制で担当しています。活動内容は、講演会・研究発表・研修会・学習会・交流会と長きに渡り活動を続けてくださっている諸先輩方に深く敬意を表する次第です。

それぞれの地域で男女共同参画はもとより、生涯学習・環境・介護等、その時々が必要とされる話題を学んできました。

2 今年度の活動内容について

テーマ「人生を豊かに～バランスの良い生き方～」

【第1回学習交流会】

「厨房男子 映画&シネマトーク」

（平成30年6月29日）

会場：ウィルあいちセミナールーム4

【第2回学習交流会】

テーマ「名古屋大学GRL（ジェンダーリサーチライブラリー）の見学&学食を食べよう」

（平成30年10月30日）

3 団体としての課題について

この会も会員の高齢化・会員数の減少など、抱える問題があります。

会員の方に楽しんで参加していただける活動スタイルを考えながら、男女共同参画社会の実現に向けて、会員同士の交流と親睦を深めていければと思います。

4 今後の目標や活動方針等について

これからも「それぞれの地域の違いを知り、良さを発見。」地域性を生かし、地域に根付いた活動が、更に発展して次世代に繋げていけたらと思います。



平成30年 尾張えみの会総会

問い合わせ先

尾張えみの会

代表 板倉純子

電話 0561-63-3527

女性の活躍促進 わが社の女性管理職紹介コーナー

中部電力株式会社

当社は、ダイバーシティの推進を重要な経営課題と位置付けています。女性活躍推進のために、キャリア形成に重点を置いた研修を、年代、階層別、育児期に実施するとともに、成長を加速するための業務付与や異動、全役付職を対象とした意識啓発教育を行っています。



広報室 コミュニケーション
推進チーム 副長

海野 聡子 さん

入社してから機会と出会いに恵まれて、今に至っていると感じています。

初異動は出向で、女性では初めて東京に送り出されました。会社の先輩方が入社3年の私を気にかけてくれ、入れ代わり立ち代わり出向先まで指導に来てくれたことを思い出します。

その後、本店で経験を積み、今の自分だったら出向先で何が出来ただろうと考えていた頃に2度目の機会をいただきました。電力システム改革の第一段階で発足する組織の広報担当です。今度は自分を試せるという思いで取り組み、他業種からの出向者と補い合いながら、業務を軌道に乗せることが出来ました。

当初は機会と捉えられず不安だったことも、振り返ってみると自分の糧になっていると実感します。これからも難題にぶつかるとは思いますが、自分が受けた恩恵を後輩に還元しつつ、ともに挑んでいきたいと思っています。

第一生命保険株式会社

当社では次世代女性リーダーの育成に向けて、社長をはじめとした役員による育成への直接関与や上位職の女性によるロールモデル提供などにより女性管理職候補者の意識改革に取り組んでいます。

引き続き、女性管理職比率においては「中期経営計画期間25%以上」の目標を掲げ、「2020年代30%」を目指し女性リーダーの安定輩出と定着を推進しています。



中京総合支社 次長

林 由紀子 さん

平成4年に一般職として入社しましたが平成21年に突然の法人営業への異動。これが私にとって大きなターニングポイントとなりました。未経験の営業でノウハウや話法もない中、最初は悔しい思いや情けない思いで涙した事もありました。そんな時に当時の上司から「女性ならではの感性で自分の強みを活かしてお客さまと向き合ったらいいんだよ。最初はできなくてあたりまえ。まずは何事も臆せずチャレンジする気持ちが大事。」という言葉が掛けてもらい、それが今でも心の支えになっています。営業を経験することで今まで見えていなかった組織の目標やビジョンも明確になり、それと同時に自身のキャリアについても考えるようになりました。

女性活躍推進とは、男性社員と同じような働き方をする事ではなく、家事や育児の経験から見えてくる「女性ならではの視点」を大切にしながら自分にあったキャリアアップを選択し働くことだと思います。また目の前にチャンスが来たときには前向きに捉えチャレンジしてみようという好奇心も大切だと思います。

「あいち女性連携フォーラム公開講座」のご案内

未来の年表～人口減少日本で起きること～

講師 河合 雅司 さん (ジャーナリスト、『未来の年表』著者)

人口減少社会、恐るべき日本の未来図を時系列に沿って、体系的に解き明かし、地域・行政に係る人々、そしてビジネスパーソンとして認識しておくべきことを話していただきます。

受講者募集!!

託児付き
(要申込み)

●日 時	平成31年2月8日(金)14:30～16:00	●受 講 料	600円
●定 員	100名	●対 象	どなたでも
●会 場	ウィルあいち3階 大会議室	●問い合わせ先	(公財)あいち男女共同参画財団企画協働課
●申込締切	平成31年1月25日(金)必着		電話 052-962-2512

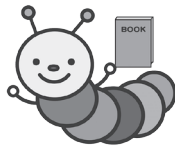
情報ライブラリー-Book Cafe

ライブラリーの本の虫 おすすめメニュー 「災害支援」



みなさんご存知ですか？情報ライブラリーには、本の虫たちがすんでいて、毎日たくさんの本を読んでいます。このコーナーでは、そんな本の虫たちからのおすすめメニューを紹介していきます。

今回は「ハテ・ナ」さんが、「災害支援」についての本を紹介します。被災地で困っている人を助けたいあなたに、支援の方法やボランティア体験談の本をおすすめします。



〈「ハテ・ナ」はこんな虫〉

古典ミステリーが好き。予想した犯人は大抵はずれる。
リアル謎解きにもくじけずに挑戦している。

『女たちが動く 東日本大震災と男女共同参画視点の支援』 みやぎの女性支援を記録する会編著（生活思想社）

女性への支援方法がわかる度 ★★★★★

根強い性別役割分担がある避難所生活で、女性達がい出しづらかった要求や意見を、自らも被災した女性団体が調査し、男女共同参画の視点から支援活動につなげていきます。女性が女性を支援する優しさと安心感が伝わってきます。LGBT被災者の避難体験談も掲載しています。



『あなたにもできる災害ボランティア 津波被害の現場から』 スペンドリニ・カクチ著（岩波書店）

ボランティアの情熱が伝わる度 ★★★★★

復興の手助けをするボランティアは、特別な技能があり、大きな団体に所属している人達だけと思いませんか？スマトラ島を襲った大津波後、被災者が元の安定した生活を取り戻すため、海外から駆けつけた個人のボランティアが、現地の人々と力をあわせ、数々の問題を乗り越える活動事例を紹介します。



『災害支援手帖』

荻上チキ著（木楽舎）

支援に備えたいくなる度 ★★★★★☆

義援金、支援金の違いは？本当に必要な支援物資って何？お金やモノ以外にどんなことができるの？など、いざというときに、より被災地の要望に沿った支援ができるように、普段から準備をしておく「支援訓練」の本です。

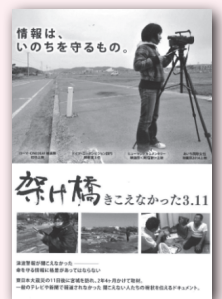


DVD『架け橋 きこえなかった3.11』

今村彩子監督、撮影、編集（Studio AYA）

障害者支援の理解が深まる度 ★★★★★☆

被災地での聴覚障害者支援について知りたい方に、特におすすめのドキュメンタリー。耳の聞こえない人は、災害時にサイレンや物資配給の連絡が聞こえず、命にかかわる情報格差が発生してしまいます。東日本大震災後、すべての人に情報がいきわたり、地域住民とろう者が助け合える地域づくりに尽力する支援者を追います。

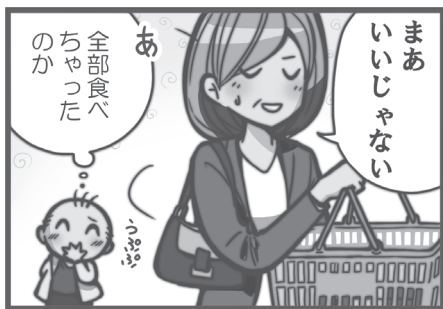
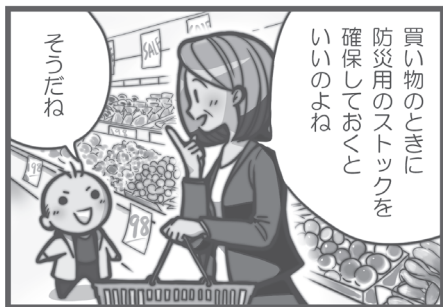


■ 紹介した図書等はすべて情報ライブラリーで貸出しています。

問い合わせ先／ウィルあいち情報ライブラリー
電話 052-962-2510

ウィル おじさん

絵:ナナ



編集後記

今回の「ウィルプラス」はいかがでしたか?あなたのご意見・ご感想を(公財)あいち男女共同参画財団企画協働課までお寄せください。

「ウィルプラス」は、県内の図書館や女性センター等で配布しています。ホームページからもご覧いただけます。また、定期読者も募集しています。詳しくは電話でお問い合わせください。

愛知県女性総合センター(ウィルあいち)のご案内

開館時間 9:00 ~ 21:00

■情報ライブラリー利用時間 9:00 ~ 19:00

休館日 年末年始(12月29日~1月3日)、施設点検日(年10回程度)

■情報ライブラリー休業日

上記の他、毎週月曜日(祝日の場合は翌日も休業)、祝日(土日は除く)、整理期間

所在地 〒461-0016 名古屋市東区上堅杉町1番地

問合せ先 <http://www.will.pref.aichi.jp/>

■施設利用受付 指定管理者 コングレ・愛知グループ
(ホール・会議室・宿泊室)

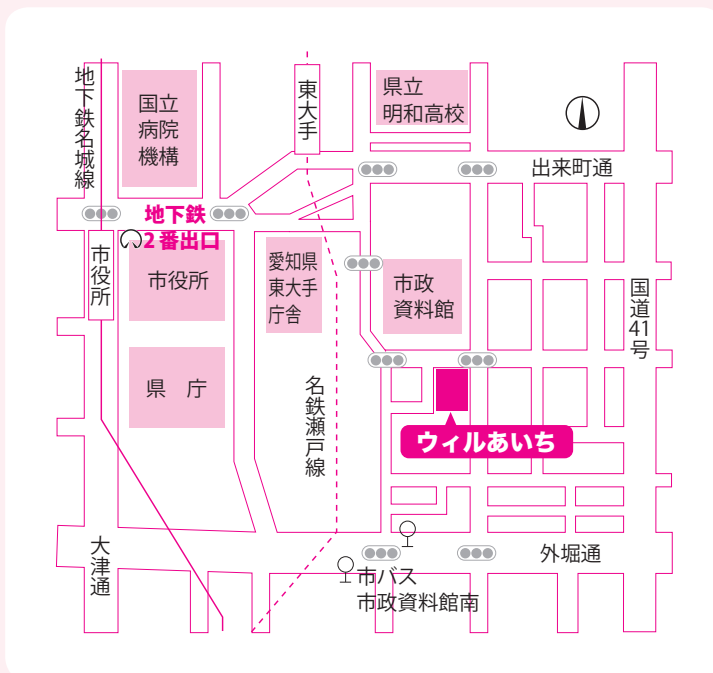
電話 052-962-2511

■情報ライブラリー

電話 052-962-2510

[交通のご案内]

- 地下鉄名城線「市役所」駅2番出口東へ 徒歩約10分
- 名鉄瀬戸線「東大手」駅南へ 徒歩約8分
- 基幹バス、名鉄バス「市役所」下車東へ 徒歩約10分
- 市バス幹名駅1「市政資料館南」下車北へ 徒歩約5分
- 駐車台数に限りがありますので公共交通機関の利用にご協力ください。
(駐車場有料)



ウィルプラス No.93 2018

編集・発行	公益財団法人あいち男女共同参画財団
住所	〒461-0016 名古屋市東区上堅杉町1番地 (愛知県女性総合センター内)
電話	052-962-2512 (企画協働課)
F A X	052-962-2477
財団HP	http://www.aichi-dks.or.jp
発行	平成30年12月(年3回/次号:31年3月発行予定)